

8/8

人を恐れるとわなにかかる。わなとは、あなたに絡みついて逃げ出すことを困難にするものである。「人への恐れ」には、自分について、他人からどう思われているかを気にしすぎることも含まれる。自分自身を他人の目から見ようとすることは、不健康で非聖書的な視点である。この恐れは人を損なう力を持ち、歪みで満ちている。他の人々から見えるあなたは、彼ら自身の罪深さに歪められている。さらに、彼らが本当はあなたのことをどう思っているかを知るのは、ほぼ不可能である。自分を他人の目から見るとき、あなたは自分自身の持つ歪みに、彼らの歪みをさらに付け加えている。人々から受け入れてもらえるペルソナ（外面人格）の仮面をつけようと努力するにつれ、あなたはわなにかかった状態に陥る。

自分が、人に対する恐れに動機づけられ、自分の思考や振る舞いがその恐れに支配されていることに気づいたら、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたの求めに応じ、他人があなたを見る目を自分の偶像としてしまったあなたを赦そう。わたしはそれらの絡みついたものからあなたが自由に解放

